

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	オープン時にあったおかげさまとしての理念を更に職員間で話し合い、夢ほーむの理念を作った		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	カンファレンスの時に理念を読み上げる事により自分の物となり、日々の介護を理念に沿ったものにできるようにしている		
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	家族会や運営推進会議を通じ、地域の中で生活する大切さを伝えるようにしている 自分達から地域に対し企画(振り込め詐欺講演)を発信する事でつながりを持つ機会を作っている		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	花火大会に近所の人に参加して頂いたり、お菓子を差し入れて頂いたり、遊びに来て頂く等の関係ができています		地域と交流できる行事を企画し、なじみの関係作りをしていきたい
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域のゴミ拾い、海岸清掃、お祭りに参加し地域との交流を深めている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	警察の協力を得て振り込め詐欺の講演等を開催している		自分達から地域に発信できる企画を立案し、参加頂けるようにしたい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	第1回の評価を受けた後に問題点を改善するようにし、更にその後どうなったかを評価している		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	3ヶ月に1回の開催をし、日常の様子や問題点を報告しアドバイスを頂き支援に活かすようにしている		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政に対し運営推進会議の参加をお願いしたが、地域包括の職員が参加しているとの理由で実現していない		今後は積極的に地域包括職員と連携を取っていきたい (例えば、セイフティネットの構築)
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	成年後見制度の研修に参加した後、職員で情報共有するようになった		講師を招き、自分たちで勉強会を開催できるようにしたい
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	順次研修に参加し、その後内部研修という形で情報共有し考える機会を持つようにしている		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4.理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時においても、その後においても、不安や疑問に思うことは遠慮なく伝えて頂き説明させて頂く様にしている</p>	
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>第三者委員を2名お願いし、玄関にも掲示し苦情を申し出しやすい環境を作っている 又、利用者様が直接管理者や職員に意見や不満を言える状況ができています</p>	
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>行事、金銭については毎月報告している 暮らしぶりについては1ヶ月に1回は報告している 健康状態についてはその都度報告し、個々に合わせ対応している</p>	
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>家族会を4ヶ月に1回開催し、状況報告をすると共に意見を頂く事で運営に活かしている 玄関にも苦情受付担当・責任者、第三者委員を明示し意見を頂きやすいようにしている</p>	
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>1ヶ月に1回職員全体会議を開催し、職員からの意見を聞いている 直接伝えづらい事は計画作成担当より管理者に伝えるようにしている</p>	
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>利用者様の身体変化、行事に合わせて職員配置を厚くするなど柔軟に対応している 勤務表作成後も状況に応じ職員を増やす等している</p>	
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員の離職を防ぐ為に、リフレッシュ休暇を導入したり職員同士で話し合える環境を作っている 新しい職員が入った時は利用者様から色々教えてもらう事で早くなじめるようにしている</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員からの研修希望をつのると共にその人に合った研修に参加できるように促している		
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	社会福祉法人の集い「安房しあわせネットワーク」やグループホームの集い、ケアマネージャーの集いに参加する事でネットワーク作りをしている		
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	リフレッシュ休暇制度を設けたり職員同士で忌憚なく話し合える場を持つようにしている		更に職員の日常の様子に注意をし変化に応じ対話の機会を増やすなどしていきたい
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	研修への参加を促し自分自身を高める機会を持つようにしている		
・安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	契約前に自宅を訪問し本人の状況を把握し話を聞くようにしている		
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	相談に来所した折や事前面接時にこれまでの経緯も含め困っている事を聴いている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人、家族の思いや状況を判断する中で他のサービスについても提案している		
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人、家族に見学に来てもらうと共に体験入所して頂く事でサービス利用に対する不安を軽減できるようにしている		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	できる事をお手伝い頂き、感謝の言葉を伝える事でやりがいにつながっている ADLの高い方が他の方の面倒を見て下さったり職員・利用者様共に支えあう関係になっている		
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に本人の希望を伝える事で、叶えて頂く事ができ利用者様が非常に喜ばれている		利用者様を支えていくのは職員だけでなく、ご家族も同様に支えていくという事を踏まえ情報共有していきたい
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人の思いを都度伝え外出・行事への参加等から一緒に過ごす時間を増やして頂けるよう呼びかけている 又、状況に応じ個別に相談の時間をとっている		
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族、馴染みの方に来所時等に来所の機会を増やして頂くよう呼びかけている 又、本人の思いを伝え外出の機会を(ご家族と)持って頂くよう呼びかけ行事への参加もお願いしている		
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	協同で行える事(行事、歌を歌う事)は関係に配慮しながら行い、その他個別に声をかけたり、訴え・思いに耳を傾けるよう努めている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	契約終了後も訪問して頂くなどの関係が続いている		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日々の関わりの中で本人の思いの把握に努めている 意思疎通が難しい方も家族と本人の為にどうしたら良いかを話し合っている		センター方式の研修等に参加するなど職員のスキルアップを図りたい
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	今後も情報の収集に努め(本人の思いを反映させる為)新人職員にも情報を伝えケアに反映させる 入所前に家族、本人からも聞いているが入所後も本人の話聞き記録し、職員が把握できるようにしている		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	一人ひとりの生活リズムを大切に必要に応じて食事、入浴の時間を変更し対応 又は、生活の中にやりがいを持って頂く為、数人ではあるが血洗い、洗濯物干し、たたみ等も行って頂いている		一人ひとりの持っている力を引き出せるよう排泄のサインを見逃さないようにし、トイレでの排泄を促していく 本人は力を持っているのに他利用者様との関係でその力を発揮できない事もある為、機会を作っていくようにしたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	カンファレンスや申し送りを活用し、利用者の状況を話し合ったり、家族にも来所時に説明し意見を頂き介護計画を作成している		
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に評価すると共に状態に変化がある時は都度計画を立てている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々あった事から本人の何気ない言葉も記録するよう職員へ呼びかけ、また申し送り、カンファレンスを通じて情報を共有しケアに反映させる また言動、行動から本人の表へ出していない思いも感じ取りご家族の協力も受けながら支援している		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	訪問看護、協力医療機関(内科、歯科)と連携する事で日々の体調管理をし利用者様の負担となる受診、入院の回避につなげている		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティアの方に来所して頂いたり小学校、幼稚園との交流を続けている 警察とも連携を取り必要に応じて協力を得られる体制を取っている		
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人、ご家族の要望に対し他サービス事業者に相談したり、地域外への受診時には移送サービスの利用を支援している		
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	運営推進会議に参加して頂いて情報の提供や意見交換を行っている		
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本法人理事の月2回の往診、1年に1回の総合的な検診を継続しており健康管理に努めている ご家族から希望があった時や必要に応じて主治医と話し合う場を設定し安心して頂くようにしている 本人やご家族が気になる事がある時は、往診時に確認して質問し安心して頂くよう努めている		

	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	<p>認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している</p>	<p>主治医が月に2回往診の為来所するので、相談したり指示を仰いでおり、診断・治療を受ける体制は整っている</p> <p>外部から講師を招いての認知症の勉強会も行っている</p>		
45	<p>看護職との協働</p> <p>利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている</p>	<p>月に2回訪問看護師来所し、健康管理をして頂いている</p> <p>状況変化時には都度連絡し相談すると共に場合により来所して頂いている</p> <p>24Hの連絡体制を確保している</p>		
46	<p>早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している</p>	<p>現在入院した方はいない</p> <p>相談、診査を受けられる体制はあり先々予想される事等医師から助言を受け、場合によってご家族とも事前から話し合っている</p>		
47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>看取りに対する指針を作成し本人、家族に最後はどこで過ごしたいかを聞いたりしている</p> <p>本人の状況により主治医から家族に話を頂き情報共有している</p>		
48	<p>重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること、できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている</p>	<p>外部の施設から講師を呼び実際に看取ったケース等話を聞き勉強している</p> <p>主治医、看護職と24Hの連絡体制を取り緊急時の対応を職員全員に周知させ対応し、ご家族の同意の下で対応可能な症例であれば看取っていくことを目指している</p>		<p>12月に職員2名がターミナルケアの研修に行き、その後内部研修を予定している</p>
49	<p>住み替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている</p>	<p>環境が変化する事でどんな事が予想されるのか等職員間でよく話した上意見をまとめ管理者、計画作成者とご家族、場合によっては主治医も含め話し合うようにしている</p> <p>決定した場合には先方に情報提供する事でダメージを防ぐよう努めている</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
50	<p>プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>個人情報の保護については職員に周知徹底すると共に来所者にもお願いしている</p>	<p>ご利用者、ご家族ごとにニーズが異なる為、対応時にどんな要望があるか伺っていきたい</p>
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	<p>その方の理解力に合わせお話をしたり、状況により個別に話をする時間を多く取る事で納得して暮らせるようにしている</p>	<p>利用者の希望と家族の希望が合わない事もある為、お互いの気持ちを仲介し、一つでも多くの希望が叶うようにしたい</p>
52	<p>日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>自由に過ごして頂いている 利用者様個々のニーズに合わせて対応しているが、利用者様が二極化する中で自由に外に出たいとの希望に添えられない時もある</p>	<p>利用者様のニーズ(外に自由に出たい、ほーむ内で安全に過ごしたい)が違ってきている中で介護補助の職員を有効に使っていきたい</p>
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	<p>理美容については地域の店を利用している 衣類についても夢ほーむでの購入を希望される時は一緒に出かけ、その人らしさを出せるようにしている</p>	
54	<p>食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>簡単な仕事に協力して頂き、終わると必ずお礼を申し上げるようにしている 食事準備や片づけを一緒にしたり自分たちで栽培した野菜を食事に出す事でより食事が楽しいものになっている</p>	<p>メニューのリクエストもあるのでカロリーの過剰摂取にならないよう気をつけながら叶えていきたい</p>
55	<p>本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	<p>お茶の時間にも色々な飲み物を都度出す等している おやつも自己管理できる方は本人分として持っている おやつも利用者様個々の嗜好に合わせて別のものを提供する事もある</p>	

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄の訴えがない利用者様もいるため、普段からのリズムを把握し誘導をしている その人の様子を見ていく中で排泄のサインを見つけてトイレ誘導に結びつけるようにしている		
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	介助が必要な方に対しては事故防止の為に日中職員が介助できる時間帯に入って頂いている 自立した方については本人の希望の時間に入浴して頂いている		
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	椅子に座ったままウトウトされているなどその人の状態に応じ和室や居室で休んで頂いている		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事の準備や片付け、洗濯物干しやたたみ、草取り等本人のしたい事、手伝って頂ける事をして頂く中で感謝の言葉を伝える事でやりがいを感じて頂いている		言葉として何がやりたいという事がない方に対しても本人の楽しめる物を探していきたい
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ご自分で管理可能な方については少額を持っている 利用者様から買物の希望があった時には職員が買物の際に購入したり、一緒に出かけ希望の物を購入して頂いている		ドライブを兼ねて売店で買物が出来る様ご家族へも理解をして頂いた上で実現させたい
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	家族の希望もあり敷地内は自由に出て頂けるようにしているが、施設外については職員と一緒に出来る時に出て頂いている		希望を言える利用者様優先になっているので、その方達以外の方も外に出る機会を持てるようにしたい
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	現在はあまり外出は出来ていないが、花火大会や運動会見学を実施することで楽しんで頂いている ご家族に協力して頂く事で外泊をして頂いている		ご家族にも参加して頂ける行事を企画していきたい

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があった際電話のやり取りが出来る様支援している 手紙を書くことが出来る利用者様は職員と一緒にポストまで投函に行っている		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	来所時はお茶を用意し、ゆっくりした時間を共有できるよう居室や共有スペースを利用して頂いている		地元で暮らしておられるご家族、ご友人が仕事帰りに気楽に来られるような空間作りを心がけたい
(4) 安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	研修に参加した職員が講師になり内部研修を実施、情報を共有し対応している		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室は窓に布団干し用のフェンスをつける為にはきだしの窓にしたが、予算の都合で現在も設置できていない 食堂の鍵を日中開けて自由に出入りできるようにしている		
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	夜間は定時に巡回し、日中は職員間で声かけをし利用者様の所在確認をしている		
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者様の状態に応じて裁縫道具など自分で管理して頂いている		
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	火災等防ぐ為の防火訓練等行っている ヒヤリハット、職員間での申し送りによって情報共有をし、事故防止に努めている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	心肺蘇生等の訓練を行うなどしている 急変時のマニュアルも作成している		
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昼夜の火災を想定し、避難訓練など行っている		
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	家族会などで説明している 又、個別に生活援助計画、電話にて伝えている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	発見した際には訪問看護師に連絡を取り、情報を伝え対応に結び付けている 又、職員間においても申し送り、業務日誌で情報を共有対応に結び付けている		
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	毎食事必要な支援、介助を実施し、服薬チェック表に記録している 体調等により服用できない時は訪問看護師に連絡を取り情報を伝え指示を頂く等している		
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排泄チェック表を作成し排泄チェックを行っている 体調、排泄、排便チェックを行い時に内服薬の調整を行っている(下剤) 食物繊維を多く含む食材を献立に取り入れるなどの工夫をしている		
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	居宅療養管理指導計画において訪問歯科受診を受けて口腔内をチェックして頂き、アドバイスを頂いている 毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援を行っている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分は毎食事時・10時・15時その他にもなるべく多く摂取できるように心がけて支援している 栄養面についてはカロリー低めにヘルシーな食事を中心に一人ひとりの状態に応じて支援している		
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	インフルエンザは利用者様、職員とも予防接種している 感染症に関しては手指の消毒は毎食前、おやつ前に実施 来所者に対しては玄関にて手指消毒実施している 感染症の対応についても勉強し情報共有している		
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	食材は賞味期限の切れたものは処分する 調理器具は1日1回消毒を実施している		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	門扉は日中開放し誰でも入れるようにしてある 玄関もバリアフリーにし安全を確保している 季節の花を鉢植えにしたり、親しみやすい雰囲気作りを心がけている		
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共有の空間は不快な音や光はない 共用の空間から外の花壇が見えるようになっており、季節感を感じて頂いている		
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	廊下に2箇所ソファーが置いてあり、利用者様がひとり又は気の合った利用者様同士で過ごせるよう工夫してある 廊下の畳のスペースでも利用者様が思い思いに過ごせるようになっている		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室、利用者様が使い慣れた家具や寝具を使い居心地良く過ごせるようにしている		家族の支援を得られない方には職員が好みのものを把握して部屋らしい環境を作っていきたい
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	換気には充分気をつけ換気扇を廻し天窓の開け閉めもこまめにしている 空調はこまめに入・切や温度調節を行っている		換気扇、エアコンのフィルターもまめに掃除出来てきた
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	廊下の両側、トイレ内等手摺が設置されており、転倒の危険のないよう工夫している 歩行訓練にも供している		廊下の手摺を活かし歩行訓練が必要な利用者様に使っていきたい
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	一人ひとりの得手不得手を見極め、その人に合った仕事をして頂き喜びを感じて頂いている		
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんで、活動できるように活かしている	畑には野菜の植え付け、草取り、収穫と積極的に参加して頂いている 花壇の花も観賞され喜んで頂いている		

. サービスの成果に関する項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
項 目			
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

1. 認知症の方が安心して暮らす為に地域とのつながりを広げるようにしている
地域の清掃、防災訓練参加、警察の協力を得ての振り込め詐欺防止の講演等
2. 運営推進会議、家族会を定期開催していく中で認知症への理解を深める取り組みをしている
認知症についての講演、ウォークラリー参加
3. 職員全員による介護計画の作成と定期的な見直しをする中で利用者さんの状態を御家族とも情報共有している